

# 2022年度 第69回 日本PTA北海道ブロック研究大会 オホーツク北見大会 参加報告

## 分科会

日時:2022年10月8日  
(オンライン配信:12月末まで)

## 全体会

日時:2022年10月9日 9:15~12:45  
場所:北見市民会館



第69回 日本PTA北海道ブロック研究大会

晴天に恵まれた一方で、11月上旬並みの気温となったオホーツク北見大会。この天候の様にすがすがしく、身も心もシャキッと引き締まる研究大会になったと思います。

コロナ禍で3年ぶりの開催となり、函館・南空知岩見沢で行えなかった分も実行委員の皆様には、お忙しい中、大会の準備・運営にご尽力いただき、誠に頭の下がる思いでした。



道P連出席者全員で集合写真

## 分科会

8日の分科会は、各地域より、区P連、市町村P連、単Pの活動をご提言いただき大変勉強になります。12月末までYouTubeで配信いたしますので、奮ってご視聴いただきたい各提言です。

## 全体会

9日は実行委員の皆様が緑色のビブスをつけ、受付・案内・運営と奮迅されている姿に頭が下がる思いでした。



スタッフ会議の様子



北見市立北中学校 吹奏楽部の皆様によるオープニングアトラクションから始まりました。グレイテストショーマンの演奏が始まった途端に鳥肌が立ったのは私だけでないと思います。それだけ迫力・まとまりのある演奏でした。スポットライトを浴びたバレエダンスも、美しい所作にた

北見市立北中学校吹奏楽部の皆さん  
はシンバの誕生が表現されており、ムファサのコミカルなボディパーカッションで会場を湧かせておりました。

ただ見とれてしまいました。最後のライオンキングで

## 開会式

吉田哲実行委員長から開会の言葉がありました。

【先の見えない霧】と表現されたコロナ禍でありましたが、『そんな霧の中でも子どもの成長は立ち止まらない。大人が手を取り、歩みを止めない。そんな大人の学びが必要である』と声高々に開会宣言されました。



開会式 菊川大会長挨拶（ご来賓・道プロ協議会役員）

大会長の挨拶では、菊川哲平大会長が、『この3年ぶりの大会は完全体ではないものの実行委員の皆様の色々な意見や感染対策で行う事ができた』。また函館大会・南空知岩見沢大会でも開催しようと尽力いただいた方々へのお礼の言葉がありました。そして『この2年間では【顔と顔を合わせる事の重要性】について改めて認識することができた。』と続け、今の子どもたち、未来の子どもたちのために、私たちは活動を楽しみ、子育てを楽しむ事が必要だと話しました。

日本PTA全国協議会の金田淳会長は、オンライン研修会のメリットデメリットがあると話されました。メリットとして『全国を、そしてこの広い北海道を簡単につなぐ事ができる。』デメリットとして『深い議論ができない、画面越しだと人間性と会場の雰囲気伝わりにくい。』と話されました。オンラインと対面では、会話（二人以上で話す事）と対話（コミュニケーションを加え話す

事)の違いがでるとお話し頂きましたが、オンラインのいいところ、対面のいいところ両方を使ってこれからの PTA 活動を飛躍させていきたいと話されました。

北見市長からもご挨拶をいただいたのち、大会役員の谷渕友美北海道 PTA 連合会副会長から 21 名の来賓紹介がありました。



北海道ブロック協議会役員

## 記念講演

講師:TEAM NACS リーダー 森崎 博之 氏

森崎氏には、「家庭・地域での子育てと食べることの大切さ」について、ご講演をいただきました。お話は大きく4つ。「北海道の魅力」「食の大切さ」「食料自給率の促進」「森崎流子育て論」についてです。限られた時間の中で、おもしろ・可笑しく、そして考えさせられる貴重な研修となりました。特に「森崎流子育て論」は興味深く、育児よりも育自が大事であり、夫婦で互いに足りないものを補い合うことの大切さについて語られていました。

もっと詳しくご講演の内容を会員の皆様にお伝えしたいところですが、今後のご講演を楽しみにしている方も多くおられることから、この辺で報告を終わります。

## 謝辞

北海道 PTA 連合会副会長 後藤一樹

北海道 PTA 連合会の後藤一樹副会長から『大泉洋さんの出身地である江別から来た』と森崎氏のハートを掴んだ後、『魅力的な地域なのに自己肯定感が低い。大人が故郷を自慢していかないと子どもたちに響かず、これら家庭教育と PTA 活動には通ずるものがある。そして「育児よりも育自」という言葉に自分を重ね、同意すると同時に心打たれた。森崎さんのお話を胸に PTA 活動を頑張る。』と謝辞を述べられました。



謝辞を述べる後藤副会長